

# 第102期 事業のご報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日



**トヨカネツ** 株式会社

(証券コード：6369)

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第102期の「事業のご報告」をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当期のトーヨーカネツ・グループの業績は、エネルギー消費の回復に伴う、貯蔵設備に対する需要増や物流事業における重要施策の推進効果による大幅な収益改善により、前期の業績と比べ増収増益となりました。

なお、当期の配当金につきましては、前年度に引き続き1株につき4円とさせていただきます。

また、昨年11月には、長期的な視点での株主還元策として、約9億円の自己株式を取得致しました。

当社グループは、中期経営計画（2009～2011年度）における2010年度の連結業績目標の達成に向けて、以下の重点施策を着実に遂行し、今まで以上に中長期的な視点に立った経営を行い、株主の皆様をはじめステークホルダーの期待に応え、グループ企業価値の一層の向上を図ってまいります。

### 1. 主力事業の基本方針

当社は「優れた技術、製品、サービスを裏付けとして持続的に成長・発展するグループ」をグループの経営ビジョンとし、機械・プラント事業は「安定的な収益の確保」、物流システム事業は「事業の再生と基盤の確立」を事業の基本方針としております。

### 2. 主力事業の重点施策

#### ・機械・プラント事業

機械・プラント事業では5つの重点施策として、次の施策を推進します。

#### ① 価格競争力の強化

新規ベンダーの開拓や加工拠点の拡充を行い、競争力の強化を行います。

#### ② プロジェクト処理能力の拡大と処理体制の整備

プロジェクト要員の増強及び技術者の育成を行います。

#### ③ 営業力の強化

国内、海外の有力顧客との関係を強化し、受注高の増加を目指します。

#### ④ 研究開発の促進

素材、溶接技術及び施工方法の研究を推進し、技術力の向上を図ります。

#### ⑤ 人的資源管理の強化

研修の実施や積極的な採用活動を行い、人的資源の強化に努めます。

#### ・物流システム事業

物流システム事業では5つの重点施策として、次の施策を推進します。

#### ① 価格競争力の強化

低コストコンベヤの展開や設計の見直し及び業務改善を進め、競争力の強化を図ります。

#### ② 提案力の強化

組織の総合力を結集し、低コストシステムの提案力を強化します。

#### ③ 中核市場の深耕と成長領域への攻勢

ターゲット顧客に経営資源を集中し、引合件数の増加に努めます。

#### ④ 人材育成と組織の機動力向上

研修の実施や組織のフラット化・シンプル化を進め、意思決定の迅速化を図ります。

#### ⑤ メンテナンス子会社（ケイ・テクノ(株)）との連携強化

顧客情報の共有化を図り、連携して顧客リレーションの向上を推進します。

#### ・建築事業

建築業界の厳しい環境下ながら、営業及び工事管理体制の強化並びにコスト削減を図るとともに、不採算案件の排除や新規分野の育成により収益基盤の一層の強化を図ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成22年6月

取締役社長 水上 健



## 決算ハイライト

### 連結決算

(単位：百万円)

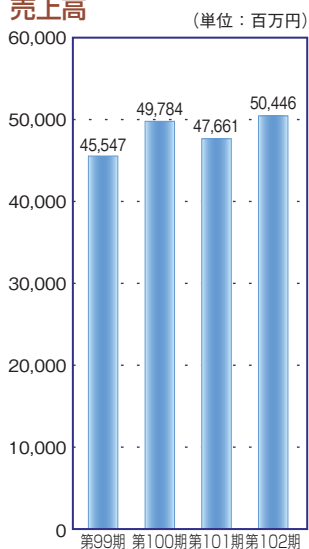
経営成績	第101期	第102期
	(前期)	(当期)
売上高	47,661	50,446
営業利益	1,866	3,863
経常利益	2,058	3,782
当期純利益	3,005	3,560
1株当たり当期純利益(円)	22.99	28.75

(単位：百万円)

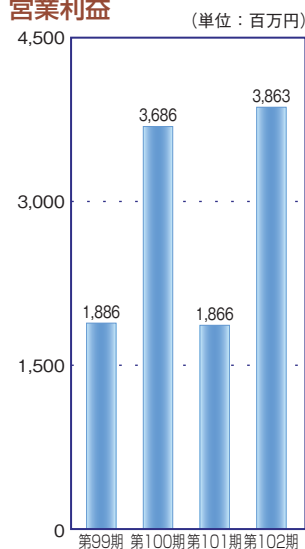
財政状態	第101期	第102期
	(前期)	(当期)
純資産額	28,014	30,276
総資産額	54,944	58,367

# 連結財務ハイライト

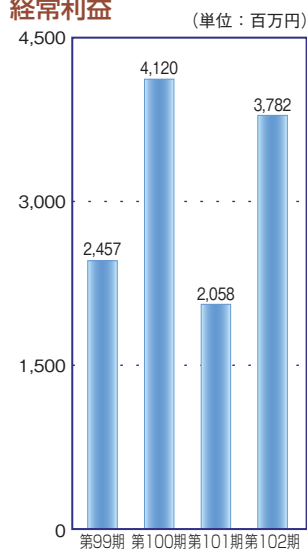
## 売上高



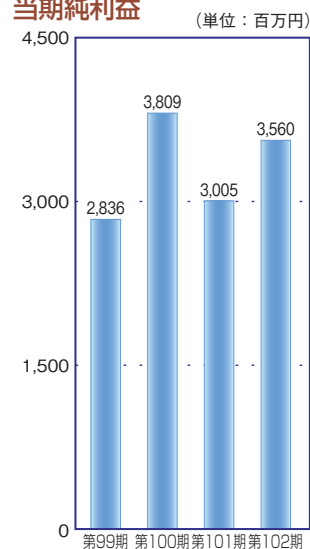
## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益

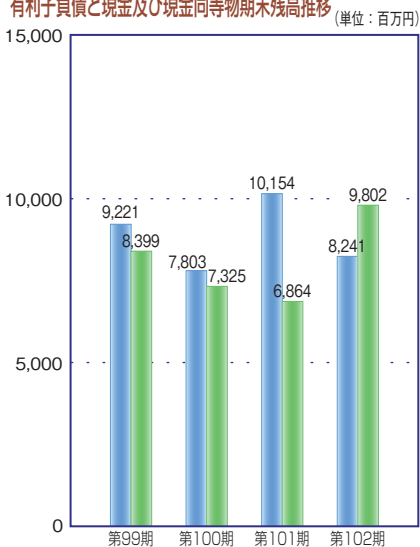


## 純資産・総資産



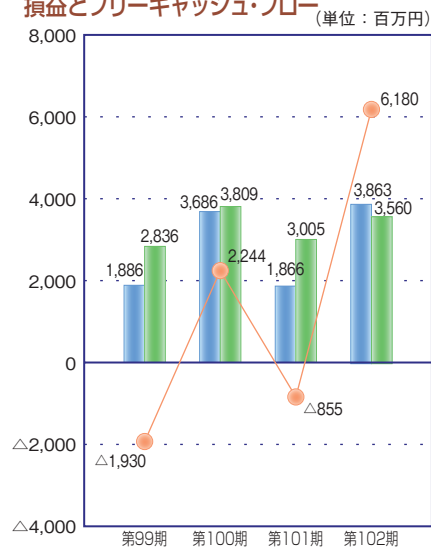
■ 純資産 ■ 総資産

## 有利子負債と現金及び現金同等物期末残高推移



■ 有利子負債 ■ 現金及び現金同等物期末残高

## 損益とフリーキャッシュ・フロー



■ 営業利益 ■ 当期純利益  
● フリーキャッシュ・フロー

## 連結財務諸表（要約）

### 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	第101期 平成21年3月31日現在	第102期 平成22年3月31日現在
<b>（資産の部）</b>		
流動資産	33,705	37,747
固定資産	21,239	20,620
有形固定資産	13,045	12,489
無形固定資産	274	338
投資その他の資産	7,919	7,791
<b>資産合計</b>	<b>54,944</b>	<b>58,367</b>

（単位：百万円）

	第101期 平成21年3月31日現在	第102期 平成22年3月31日現在
<b>（負債の部）</b>		
流動負債	21,554	20,842
固定負債	5,375	7,249
<b>負債合計</b>	<b>26,929</b>	<b>28,091</b>
<b>（純資産の部）</b>		
株主資本	27,823	29,549
評価・換算差額等	101	617
少数株主持分	89	109
<b>純資産合計</b>	<b>28,014</b>	<b>30,276</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>54,944</b>	<b>58,367</b>

### 通期見通し（連結）

（単位：百万円）

	第102期末実績 平成21年4月1日 ～平成22年3月31日	第103期見通し 平成22年4月1日 ～平成23年3月31日
連結 売上高	50,446	52,600
営業利益	3,863	2,000
経常利益	3,782	2,200
当期純利益	3,560	1,200

### 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	第101期 平成20年4月1日 ～平成21年3月31日	第102期 平成21年4月1日 ～平成22年3月31日
売上高	47,661	50,446
売上総利益	6,147	7,846
販売費及び一般管理費	4,280	3,982
営業利益	1,866	3,863
営業外収益	889	280
営業外費用	698	361
経常利益	2,058	3,782
特別利益	1,268	512
特別損失	206	54
税金等調整前当期純利益	3,120	4,240
法人税、住民税及び事業税	151	211
法人税等調整額	△ 39	453
少数株主利益	3	15
<b>当期純利益</b>	<b>3,005</b>	<b>3,560</b>

### 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	第101期 平成20年4月1日 ～平成21年3月31日	第102期 平成21年4月1日 ～平成22年3月31日
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 521	6,379
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー （フリーキャッシュ・フロー I+II）	△ 333	△ 198
	△ 855	6,180
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	684	△ 3,297
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 325	55
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 496	2,938
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	7,325	6,864
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	35	—
VIII. 現金及び現金同等物の期末残高	6,864	9,802

### 連結株主資本等変動計算書（要約）（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本	評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
前期末残高	27,823	101	89	28,014
<b>当期変動額</b>				
剰余金の配当	△ 503			△ 503
当期純利益	3,560			3,560
自己株式の取得	△ 930			△ 930
土地再評価差額金の取崩	△ 400			△ 400
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		516	19	536
<b>当期変動額合計</b>	<b>1,725</b>	<b>516</b>	<b>19</b>	<b>2,261</b>
<b>当期末残高</b>	<b>29,549</b>	<b>617</b>	<b>109</b>	<b>30,276</b>

## 機械・プラント事業

### LNGタンクの大容量化に対応

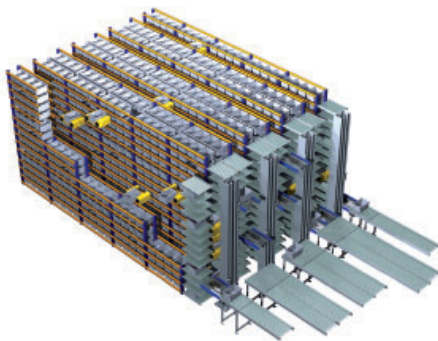
地球温暖化や原油価格の高騰などを背景に、LNG（液化天然ガス）に代表されるクリーンエネルギーの需要が増大し、20万kl超の大容量LNGタンクの建設も計画されております。当社では、大型LNGタンクの建設における溶接量の増加や建設工程の長期化という課題に対し、LNGタンク建設の要となる「9%ニッケル鋼」の溶接の効率化に取り組んでいます。品質と強度、韌性（粘り強さ）のバランスがとれた溶接継手の維持が可能で高効率（従来の溶接工法に比べ2～3倍UP）な「フラックス入りワイヤ（FCW）」による自動溶接の今夏の実用化に向けた研究開発を続けております。



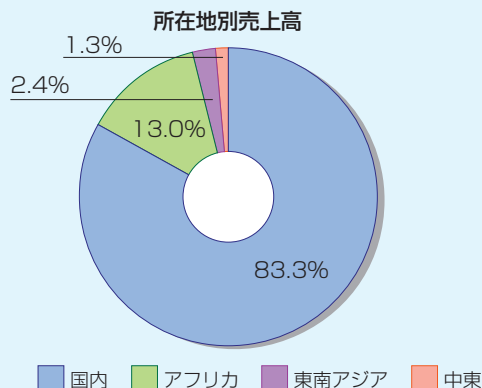
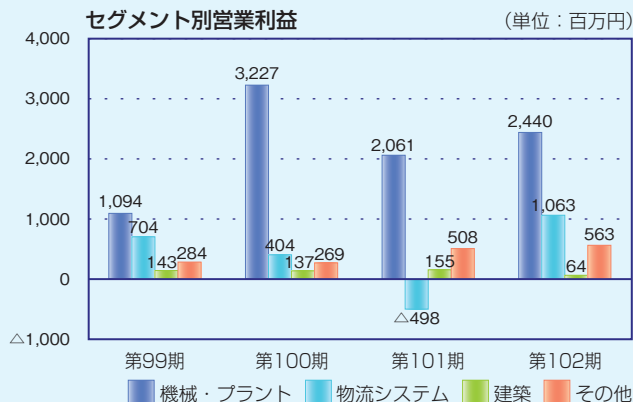
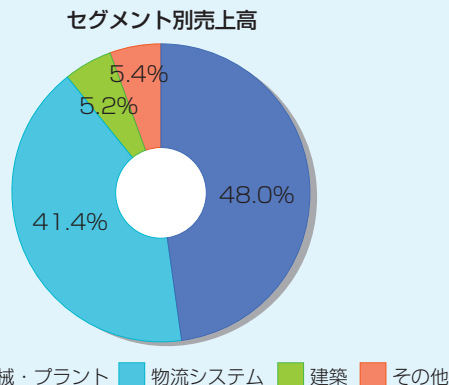
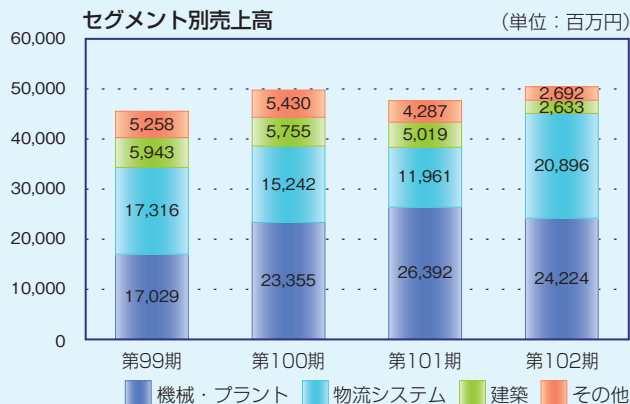
## 物流システム事業

### 自動保管システム「マルチシャトル」システムをリリース

この度、『中間事業のご報告』でご紹介したSPDⅢの自動化周辺機器に続き、ケース自動保管システム「マルチシャトル」システムをリリース致しました。このシステムは棚の各段毎に移動ビークルを配し、昇降機にてケースをビークルへ供給して入出庫させる、省スペースながら高い入出庫能力を実現したシステムです。オプションとして、棚の間に昇降機を設置することや、棚の奥行き方向に2ケース収納する機能、他にはピッキング・仕分けなど用途に応じた、ご利用も可能です。これにより省スペース・高能力によるコスト削減効果をお客様に提供致します。



## セグメント別営業の概況



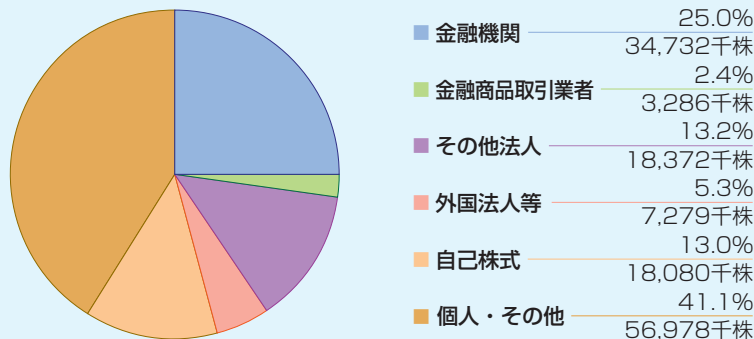
※内部売上高または振替高を消去する前の数値に基づき表示しています。  
 ※その他には不動産賃貸事業が含まれております。

## 株式の状況

平成22年3月31日現在

発行可能株式総数 297,000,000 株  
 発行済株式総数 138,730,741 株  
 株主数 17,783 名

### 所有者別株式分布状況



商号 トーヨーカネツ株式会社  
TOYO KANETSU K.K.  
設立年月日 昭和16年5月16日  
資本金 185億80百万円  
所在地 東京都江東区東砂八丁目19番20号  
事業所 本社 東京都江東区  
千葉事業所 千葉県木更津市

役員  
代表取締役社長 水上 健  
常務取締役 島崎 真次  
取締役兼上席執行役員 有田 貞雄  
取締役 柳川 徹  
取締役兼上席執行役員 藤吉 昭二  
常勤監査役 能條 輝夫  
社外監査役 日野 正晴  
社外監査役 宮川 恵一  
社外監査役 中村 高

グループ会社一覧

機械・プラント事業

- アル・ガリーラエンジニアリングアンドコンストラクション社
- トーヨーカネツインドネシア社
- ティーケーケーユーエスエー社
- トーヨーカネツシンガポール社

オマーン  
インドネシア  
アメリカ  
シンガポール

機械・プラント事業／物流システム事業

- トーヨーカネツマレーシア社

マレーシア

物流システム事業

- トーヨーカネツソリューションズ株式会社
- ケイ・テクノ株式会社

東京都江東区  
東京都江東区

建築事業

- トーヨーミヤマ工業株式会社

千葉県木更津市

その他の事業

- 株式会社ティケイエル
- 株式会社トーヨーサービスシステム
- トーヨーコーケン株式会社
- 株式会社マナビス

東京都江東区  
東京都江東区  
東京都江東区  
千葉県浦安市

ホームページのお知らせ



TOP画面



IR情報ページ

<http://www.toyokanetsu.co.jp/>  
当社に関する情報がご覧になれます。

## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人・  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。

公告掲載URL

<http://www.toyokanetsu.co.jp/>

### (ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎ致します。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払い致します。

# トヨカネツ 株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区東砂八丁目19番20号  
TEL.03 (5857) 3333 (代表) FAX.03 (5857) 3170

